

油断大敵

夏の天気

皆さんは災害とは無縁だと思っていませんか？ 毎年夏を中心に、日本各地で台風や前線、ゲリラ豪雨が原因の災害が頻発しています。明日は我が身に起こるかもしれない災害。ここでは気象災害の危険性と身を守る方法を紹介します。（みどり）

夏の4大気象災害



落雷は主に積乱雲（入道雲）の直下で発生します。雷が直撃しなくても、ものを伝って感電し、死に至る場合があります。



土砂災害は土石流やがけ崩れの総称で、大雨が降り続いたときにしばしば発生します。土砂により集落全体が破壊されることもあります。

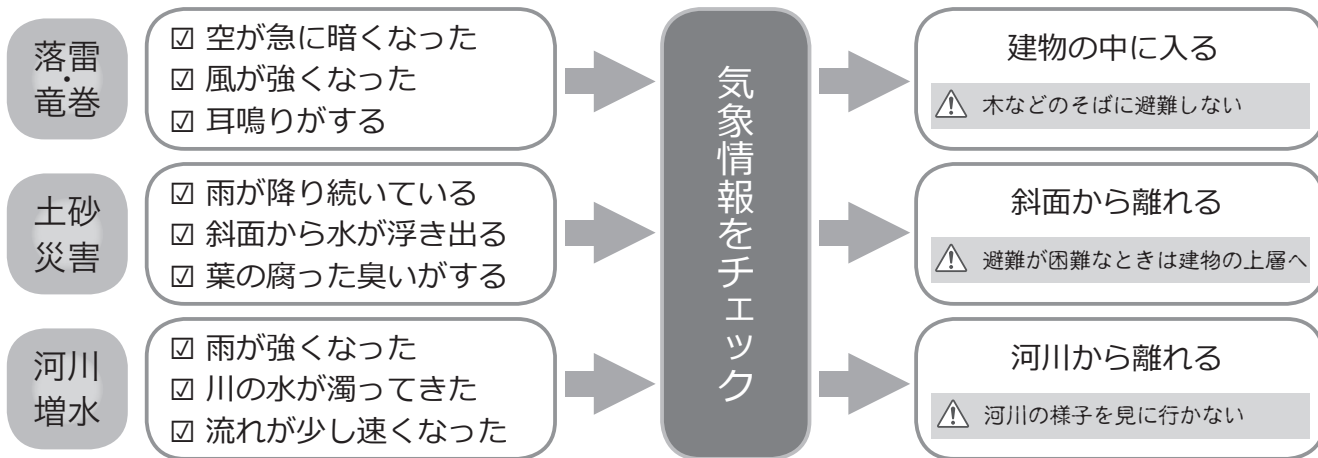


竜巻は突風の一種で、日本では年間約90個発生しています。秒速60mを超える暴風が吹くこともあり、自動車も飛ばされてしまいます。



河川の増水はときに洪水に発展することもあります。様子を見に行き行って転落したり河川敷に取り残されたりする事故が多発しています。

被害を最小限に抑えるための3ステップ



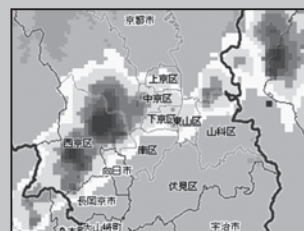
要チェック ～高解像度降水ナウキャスト～

気象庁が提供している予報の1つで、60分先までの雨雲の動きや直近の観測値、落雷の危険がある地域が詳細にわかるwebページです。雲行きが怪しくなったときにこまめにチェックすることで豪雨などによる被害を防ぐ可能性が高まります。



気象庁 レーダー

検索



▲京都市を襲う豪雨 ©JMA 2014

はみだし
すてーじ

クロスワードの答えは森林浴。今年農学部森林学科に入学した私にピッタリ？
⇒ピッタリだと思いますよ！

(農・1 匿名希望)
(7月は気温が高いので森林で涼むのもよいですね；編)